

assert-eq のドキュメント

Naoki Kaneko (a.k.a. "puripuri2100")

1. 使い方

作成したパッケージが想定した機能を持っているかを確認することができます。

`assert-eq arabic (1+2) 3` などのように、`assert-eq <function> <left> <right>` のように与えることで、`<left>` と `<right>` が一致するかどうかを確認することができます。

ここで与える `<function>` は `<left>` や `<right>` での値を文字列に変換するための関数です。

多くの値については `debug-show-value` パッケージが役に立つでしょう。

また、エラー報告をわかりやすくするために、チェックする関数にラベルを付けることができます。これは `assert-eq ?:(<label>) <function> <left> <right>` のように、最初にオプション引数の形で与えてください。

2. 提供関数など

モジュール名: `AssertEq`

- `assert-eq : string?-> ('a -> string) -> 'a -> 'a -> unit`
- `direct \assert-eq : [string?; ('a -> string); 'a; 'a] inline-cmd`
- `direct +assert-eq : [string?; ('a -> string); 'a; 'a] block-cmd`

組版時には `\assert-eq` コマンドは `inline-nil` と同じ挙動をし、`+assert-eq` は `block-nil` と同じ挙動をします。